

2023年度通常総会報告

2023年4月26日、昭和木材(株)2階会議室において、出席および書面による議決権行使を合わせ108名のご参加をいただき、2023年度通常総会を開催しました。総会では、2022年度事業報告、2022年度決算書類及び財産目録、会費の額、役員報酬額、役員改選、2023年度事業計画及び収支予算等について審議し、いずれも承認されました。

また、同日、第2回理事会を開催し、2023・2024年度の役員を決定しました。

■2022年度事業報告について

1 会員の動向

2022年4月当初143名、入会1名、退会2名により2023年3月末現在で142名となった。

2 諸会議の開催

第1回理事会を2022年4月8日～4月13日に書面開催し、第2回理事会を2023年2月9日、2022年度通常総会を2022年4月25日にそれぞれ開催した。

3 普及事業

(1) 林産技術普及事業

ア 木材利用に関する相談事業の実施

①道産材の利用に関する相談に応えるとともに、研究機関や取扱事業体を紹介した。

イ 講演会等の開催

①総会記念講演会を実施した。

開催日時：2022年4月25日

演題：“天然木第一主義”に基づく国産広葉樹の活用に向けて

講師：海堀 哲也氏（朝日ウッドテック株式会社 代表取締役社長）

参加者：115名

②Web版「木になるフェスティバル（主催：道総研林産試験場）」に協力した。

開催期間：2022年7月19日～8月31日

③木のマグネット工作体験を実施した。

開催日時：2022年9月12日～11月16日の間に6回、各1時間

場所：木と暮らしの情報館

参加者：旭川市内の高等学校6校から58名

ウ 会誌・図書が発行事業

①824～835号の「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を発行した。

②展示クラフトの紹介パンフレットを作成し、来館者に配布した。

エ ホームページの活用

①ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。

②1984年1月号以降のウッディエイジ全記事をホームページで公開した。

(2) その他事業

ア 展示品維持管理事業

展示品維持管理業務を道総研から受託した。

イ きのこ栽培試験管理事業

きのこ栽培試験管理業務を道総研から受託した。

ウ 講習物販等事業

①木材乾燥講習会を実施した（（公社）日本木材加工技術協会北海道支部との共催）。

開催日時：2022年10月6日～7日

開催場所：林産試験場講堂

受講者：10名

③「上川地域水平連携協議会」事務局として活動した。

2021年度に作成した「防火木外壁 技術資料」，「防火木外壁 技術資料 要約版」の配布を進めた。「顔の見える木材での快適空間づくり事業」に事業を提案したが不採択となった。

④会員企業支援事業：林産試験場での依頼試験等を実施した会員に，所用経費の1/2を助成した。

■2022年度正味財産増減計算

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|------------|-------|------------|
| 会費収入 | 2,478,750 | 事業費 | 19,347,443 |
| 林産技術普及事業収入 | 843,131 | 管理費 | 1,284,959 |
| 受託事業収入 | 17,989,400 | 次期繰越金 | 23,361,078 |
| 講習物販等事業収入 | 6,639 | | |
| 受取民間助成金 | 170,000 | | |
| 雑収入 | 27,211 | | |
| 前期繰越金 | 22,478,349 | | |
| 計 | 43,993,480 | 計 | 43,993,480 |

■2023年度事業計画

1 林産技術普及事業[実施事業等会計]

- (1) 「木と暮らしの情報館」来館者および電話等による林産技術や木製品に関する質問，問合せに対し，簡易な説明と林産試験場，木材企業の紹介等を行う。
- (2) 林産試験場との共催で，木になるフェスティバルを開催する。中止の場合には，代替事業を実施する。
- (3) 一般市民に対し，木材利用の促進を図る普及活動を実施する。
- (4) 会誌「ウッドエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(836～847号)する。
- (5) ウッドエイジ記事をホームページで公開する。
- (6) 公設試験研究機関，大学，木材加工企業等に対し，会誌及び木材乾燥，木材加工等の技術資料提供に努める。
- (7) 木と暮らしの情報館に展示しているクラフトの紹介パンフレット(2023年度版)を作成し，来館者に配布する。
- (8) 道内17か所の森林・木材関連展示施設情報を掲載した紹介パンフレット「北海道にある森林・林業・木材・木製品の展示施設」を作成し，来館者に配布する。
- (9) トドマツ等地域材の有効利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の活動を支援する。

2 展示品維持管理事業[その他事業]

林産試験場木と暮らしの情報館に係る「展示品維持管理業務」の受託に努める。

3 きのか栽培試験管理事業[その他事業]

林産試験場に係る「きのか栽培試験管理業務」の受託に努める。

4 講習物販等事業[その他事業]

(1) 講演会，講習会を開催する。

(2) 会員企業が林産試験場へ依頼試験等を行う場合に，費用の一部を助成する。

5 70周年事業

普及協会創立70周年を期に，2つの事業に取り組む。

(1) 北森カレッジを通じた若き人材の育成支援

(2) 林産試験場に対する調査研究の委託

「道内広葉樹資源の流通動向調査と製材用途の利用拡大に向けた中径木の材質評価」

■2023年度収支予算

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|------------|-------|------------|
| 会費収入 | 2,600,000 | 事業費 | 21,934,000 |
| 林産技術普及事業収入 | 200,000 | 管理費 | 1,270,000 |
| 受託事業収入 | 17,922,300 | 次期繰越金 | 21,250,878 |
| 講習物販等事業収入 | 200,000 | | |
| 受取民間助成金 | 170,000 | | |
| 雑収入 | 1,500 | | |
| 前期繰越金 | 23,361,078 | | |
| 計 | 44,454,878 | 計 | 44,454,878 |